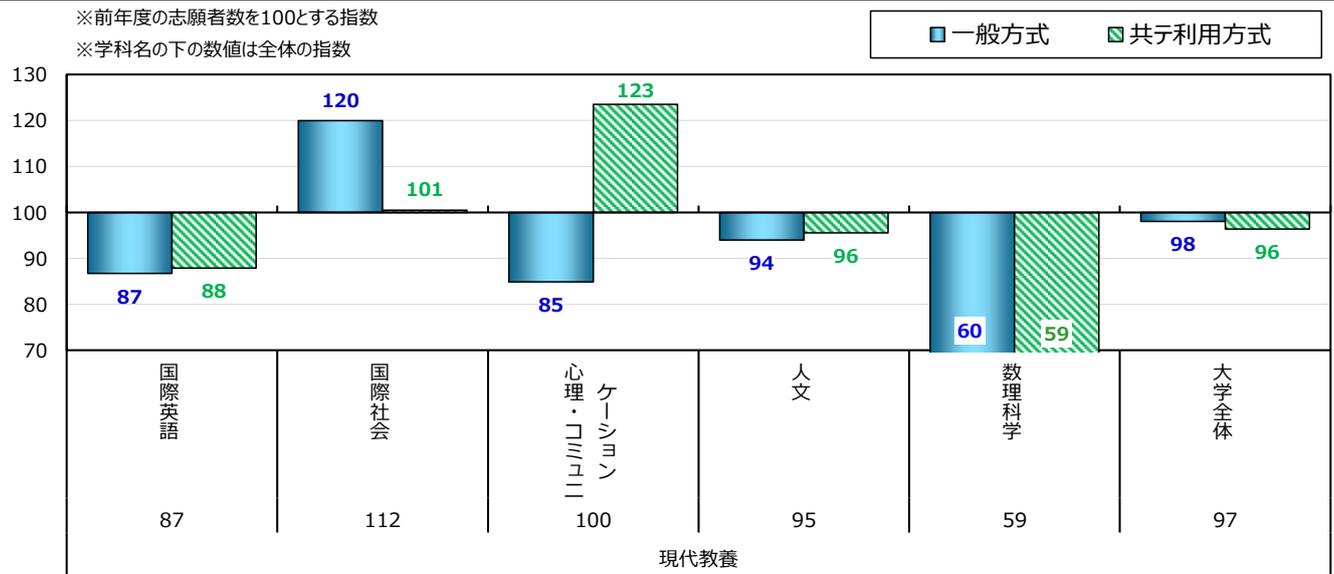


東京女子大：大学全体ではやや減少し、2年連続減少

一般：-80人 共テ：-118人



主な入試変更点

専攻改組：現代教養(数理科学/数学、情報理学)→(数理科学/情報数理科学)
 選抜方法：現代教養(人文/日本文学)<共テ併用・3月期(専攻特色型)>…個別(小論文)新規実施、共テの選択に歴公、数追加
 <共テ>国+外→<共テ>国+外+(歴公 or 数① or 数②)、<個>論
 入試科目：現代教養(人文/哲学)<共テ併用・3月期(専攻特色型)>
 …共テの国が歴公、数①、数②、理・理基2との選択へ、共テ、個別の配点変更
 <共テ>国<75>+外<75>=総点<150>、<個>論<150>
 →<共テ>外<50>+(国 or 歴公 or 数① or 数② or 理・理基2)<50>=総点<100>、<個>論<200>
 募集人員：現代教養(国際英語/国際英語)<一般・前期個別学力型>50人→37人

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、198人(97)のやや減少で2年連続減少。学科別では、2専攻から1専攻への改組を行った現代教養(数理科学)(59)の大幅減少が目立った。方式別では、一般方式は前年度大幅減少の反動はなく、80人(98)の微減。前年度2方式とも大幅減少だったが、<個別学力試験型>(92)は引き続き減少。一方で、<英語外部試験利用型>(108)は増加。共通テスト利用方式は118人(96)のやや減少で2年連続減少。(国際英語)のみで実施の<共テ併用・英語 Speaking Test 利用型>(111)は4人増加だったが、他の方式はいずれも減少。

- <一般方式>**
- 現代教養(国際英語)(87)は、減少。ただし、募集人員も15人(24%)減少で、志願倍率は7.9倍→9.0倍にアップ。
 - 現代教養(国際社会)(120)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、前年度全ての専攻で大幅減少だったが、一転して全ての専攻で20%前後の大幅増加。
 - 現代教養(心理・コミュニケーション)(85)は、2年連続大幅減少。専攻別では、(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)(80)は2年連続大幅減少、(心理・コミュニケーション/心理学)(91)も2年連続減少。
 - 現代教養(人文)(94)は、2年連続やや減少。専攻別では、3専攻中2専攻で減少。(人文/歴史文化)(82)は大幅減少、(人文/哲学)(88)は2年連続減少。一方で、(人文/日本文学)(109)は前年度やや増加に引き続き増加。
 - 現代教養(数理科学)(60)は、2専攻から1専攻への改組を行い、2専攻の併願ができなくなったことにより減少。

- <共通テスト利用方式>**
- 現代教養(国際英語)(88)は、前年度大幅減少に引き続き2年連続減少。方式別では、<共テ・3教科型>(84)は2年連続大幅減少。
 - 現代教養(国際社会)(101)は、前年度並。専攻別では、4専攻中3専攻で減少。(国際社会/コミュニティ構想)(54)は3年連続増加の反動で大幅減少、(国際社会/国際関係)(91)は5年連続減少、(国際社会/経済学)(99)は2年連続微減。一方で、(国際社会/社会学)(160)は前年度大幅減少の反動で激増。
 - 現代教養(心理・コミュニケーション)(123)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(心理・コミュニケーション/コミュニケーション)(145)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。(心理・コミュニケーション/心理学)(100)は5年連続減少の反動はなく、前年度と志願者数は同数。
 - 現代教養(人文)(96)は、やや減少。専攻別では、3専攻中2専攻で減少。(人文/歴史文化)(80)は大幅減少で2年連続減少、(人文/日本文学)(98)は前年度大幅増加の反動は小さく前年度並。一方で、(人文/哲学)(139)は大幅増加で6年ぶりに増加。
 - 現代教養(数理科学)(59)は、2専攻から1専攻への改組を行い、2専攻の併願ができなくなったことにより減少。